

1 2 春闘で生活不安の改善を

3 Q決算の模様

ルネサスエレクトロニクス社の3Qの決算発表が1月31日にありました。3Qは、タイの洪水や欧州の経済危機の影響に、円高が重なって、非常に苦しい状況にあることは実感していたものの、予想以上の売上減となりました。3月期の売上高は、3ヶ月前の予測から830億円も減少し、8850億円と発表されています。これはリーマンショック前の2008年度のルネサステクノロジ社の売上(9505億円)をも下回ります。また、外部金融機関の信用を得るために必須と言われていた下期黒字化の目標も、見直さざるを得なくなりました。しかし他方、これだけ売上が減少しながら、3Q単独で見れば、純損益の赤字は24億円に抑えられました。これを関係者は、黒字体質になりつつあると見るのでしょうか。答えは来年度の業績如何にあるでしょう。

2012春闘が始まりました

今年も春闘の季節となりました。賃金一時金の減額で、例年以上に懐の寒い今年ですので、経済面の回復が、まず求められます。また、今年には2年に1度の労働協約改定の年でもあります。制度面での改善にも期待したいと思います。

一時金要求は4.3ヶ月

労働組合は、今春闘の一時金要求月数を4.3ヶ月にすると報告しました。賃金一時金を減額してまで達成しようとしていた下期黒字化を諦めた現在、この4.3ヶ月の実現は、大変厳しい目標と思われるが、少しでも目標に近づけるように期待します。殊に4月からの賃金回復と、6月の一時金2.0ヶ月以上確保は、社員の経済状況回復のためにも、必ず実現して欲しいと考えます。

労働協約の改定はどうなる？

労働組合が掲げているのは、雇用延長制度の改善です。法対応のため、これまで雇用延長者に成績による条件を付けていたものを廃止し、誰でも取得できる制度にする事は、高齢化社会への対応として評価できると思います。

しかし、他の協約改定の要求を見送るのは問題です。昨年12月に制度一元化の労使合意を行っていることを、その理由としていますが、先の制度一元化は、スピードを重視したために、現行の制度をベースにすることと、原資を不変にする(全体としては改善も改悪も行わない)事を条件に進めたとの認識です。制度の改善要求は別ではないのでしょうか。

前向きで積極的な春闘にしよう

厳しい業績を反映し、今年も賃金の改善を見送る12春闘ですが、こんな年こそ、未来を見据えた労働条件の改善が求められると思います。労働協約の改善や、職場労働環境の整備などに、積極的な論議が行われる事を期待します。

大型表示ドライバ事業集約

会社は3Qの決算報告と同時に、大型表示ドライバ事業の開発終了を発表しました。事業を担っていた表示デバイス事業部は、玉川事業所内にあります。もとはELの中核事業のひとつで、2006年には年間1千億円に迫る売上がありました。ところが、市況の変化に追従できずに業績が悪化し、会社統合直前の2009年には、モバイル機器などの小型液晶画面の表示ドライバを集約して、TVなどの大型用に特化させました。その大型も、市場の価格が大幅に下落し、かつ顧客の内製化が進んだことから市場を失い、現在は全盛期の1/10程度のビジネス規模になっていました。こうした急激な変化には、モノカルチャー事業の難しさを感じます。表示事業部の社員の多くは、玉川のA&P内で異動になると聞きます。新たな部署で活躍できるよう、会社には教育などの環境整備を求めたいと思います。

ルネサス懇

ルネサス関連労働者懇談会 2012年2月 No.7

E-Mail : renesaskon@gmail.com

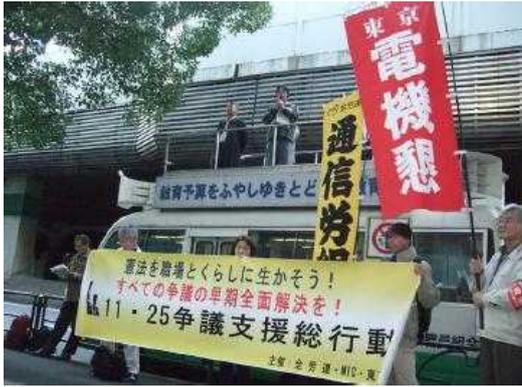
Web : http://www.renesaskon.net/

住所 : 東京都港区三田3-2-20 電機労働者懇談会気付

TEL : 03-3455-6006 FAX : 03-3451-3595

NECセミコン重層偽装請負訴訟

昨年11月25日(金)に行われた「11・25全労連・MIC・東京地評争議支援総行動」の、15時35分からのルネサスエレクトロニクス本社前での宣伝(写真)では、不当に解雇された3名の直接雇用を求める行動が行われ



れました。NECセミコン熊本で2008年12月から2009年3月にかけて解雇され、2010年4月に熊本地裁に提訴し4重構造の重層偽装請負の違法行為を8回の弁論で明らかにし、経営を引き継いだルネサスエレクトロニクスに対して原告3名を正社員として直接雇用を求めて闘っています。昨年11月11日(金)には第8回口頭弁論が行われ、関係者4名の証人尋問と、原告の本人尋問が決まりました。次回の公判は2月10日(金)です。引き続き、みなさんのご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

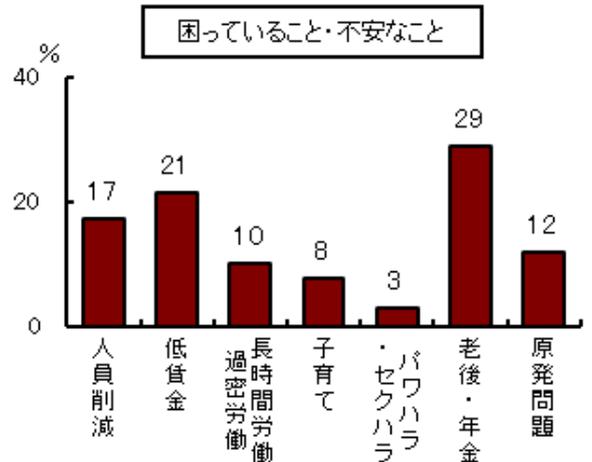
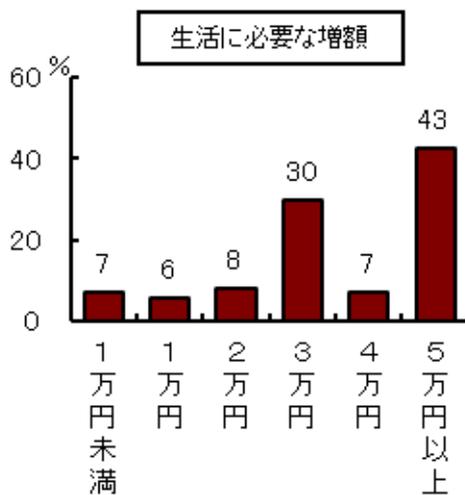
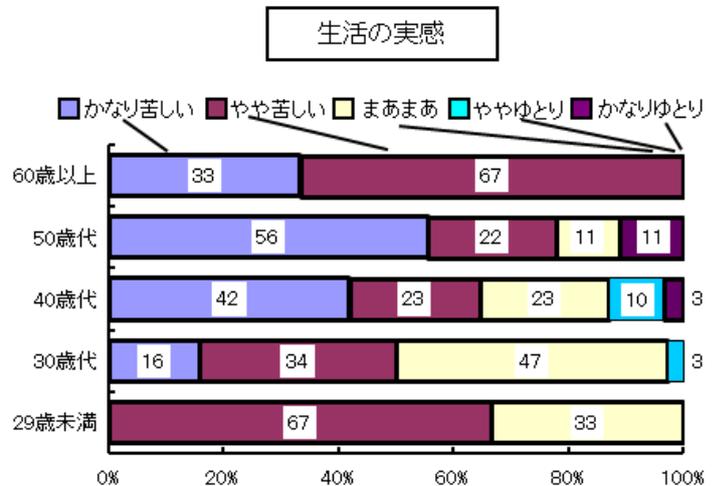
2012年生活改善要求アンケート ルネサス分集計結果

ルネサス懇では昨年11月から、電機労働者懇談会と協力し、2012年生活改善要求アンケートの回収を各地の事業所での門前宣伝や職場内で取り組んで来ました。

アンケートには1月末までに、ルネサス関連の山形から熊本まで全国の職場から89件の回答が寄せられていますので、集計結果をお知らせします。

生活の実感については60%以上の方が「苦しい」と回答しており、特に40歳代・50歳代では約半数が「かなり苦しい」と回答しています。生活に必要な月の増額は、5万円以上が43%と最も多くなっています。

また、困っている事・不安な事については「老後・年金」「低賃金」「人員削減」「原発問題」が多くなっており、特にルネサス関連の職場では他の企業に比べて人員削減に対する不安が多いという特徴があります。これは、この間継続的に実施されているリストラ等の影響を反映していると言えます。



編集後記 2012年春闘が始まりました。今年度は、東日本大震災による工場被害の復旧や電力不足への対応、事業所の閉鎖や事業の譲渡・撤退など大変な状況が続き、職場においても様々な影響がありました。また、旧RTと旧ELの制度一元化も行われ、従業員の生活にも大きな変化が生じています。安心して働ける職場の実現と労働条件や生活の向上を目指して、春闘で確かな成果を勝ち取る事が出来るよう力を合わせて取り組んでいきましょう。